



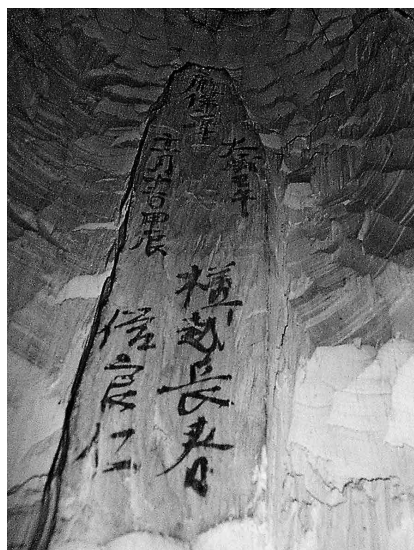
県指定文化財「木造如意輪観音半跏像」

越生浪漫 No.212

12年に1度！
「如意の観音様」ご開帳

越生駅の東方約1kmの小高い丘の上に、「如意輪観音堂」があります。ここには、如意の地名の由来と言われている、「如意の観音様」として親しまれている、県指定文化財「木造如意輪観音半跏像」が祀られています。普段は耐火収蔵庫に大切に保存されて

います。
関東最古の在銘像「如意の観音様」は、像高約104・0cm、頭部と体部を一材の力から彫り出し、途中で前後に割って内部を削り貫き、再び前後左右にはぎ合わせて「割剱造」で造られています。腕は二臂（二本腕）で左手に如意宝珠をささげ、右手は掌前にして第一・第三指を捻っており、足は右足を左足の上にのせて座る半跏像の姿をしています。また、大きな小鼻、つき出た唇、先のとがった小さな顎の作り、量感ある像容は、二臂・半跏の姿とあわせて、古風な要素と



胎内墨書銘（林 宏一氏 撮影）

え餅」といふ風習があります。観音堂では昔から「とっかえ餅」といふ風習があります。

とっかえ餅
観音堂では昔から「とっかえ餅」といふ風習があります。関東最古の在銘像です。先人が守り伝えてきた地元の誇りであり、美術史上重要な仏像彫刻です。

だめています。唇には朱を入れ、眉と眼と髭は墨で描かれています。作者不明ですが、関東彫刻に多いカヤ材の割剱造であることから在地仏師の製作と推定されています。

夕方、新米で作った大福餅を持ち寄り、まず観音様に供え、歓談しながら月が出るのを待ち、月が出ると餅を交換しあって食べて、にぎやかに夜を過ごします。日本では昔から、月の出や日の出を待つ子供を供えて飲食をともにする「月待ち」「日待ち」という行事がありました。とっかえ餅は、月待ちに新米の出来を見るなどの意味合いが加わった行事と考えられています。

「如意の観音様」ご開帳
今年は12年に1度のご開帳です。多くの方のお越しをお待ちしております。
日時：11月3日（火・祝）
10時～15時
11時半より大護摩供養行
場所：如意輪観音本堂
（大字如意800）
※お車で越しの方へ
駐車場②は左図をご参照ください。



梅園小学校

9月1日（火）の朝の会に、各教室で「シェイクアウト訓練」（体勢を低くし、頭を守り、動かない）に取り組みました。また、3時間目には避難訓練を行い、避難方法や経路を確認しました。さらに、煙体験と消火体験についても、西入間広域消防組合越生分署の方より指導を受けながら行いました。



越生小学校

9月2日（水）、今年度2回目の避難訓練を行いました。今回の訓練は、地震発生後に教室待機となり、児童は自主的に安全な行動ができるか、教師は児童の安否確認を素早く確実に行うためトランシーバーを使った訓練を行いました。また、今回の訓練は埼玉県議会が推奨するシェイクアウト訓練も兼ねて行いました。



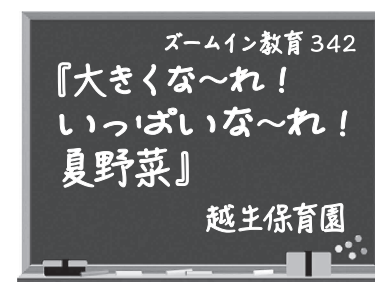
越生中学校

8月31日（月）、火災を想定した避難訓練を行いました。訓練後は、越生分署の方から火災時の行動や地震への備えについてお話いただきました。生徒たちは、「自分の命は自分で守る」という防災への意識を一層深めることができました。



おごせっ子広場
町内の小中学校や町の行事等に参加することもたちを写真で紹介するコーナーです。

3・4・5歳児を中心に花壇や、プランターで野菜を育てています。
越生保育園では、こどもたちが野菜の栽培を通して、食への興味や、感謝の気持ちを育む食育活動を行っています。
今年度は、年中、年長児が、自分たちで種や苗をお店まで歩いて買いに行く経験をしました。
事前に、育てたい野菜を鑑や絵本を見て決めていたので、「きゅうりあったよ」「ピーマンはこれだね」と喜んで手に取り買うことができました。
草取り、水やりなど、お世話しながら、野菜が少しずつ成長していく様子を毎日楽しみに見守っています。「大きくなって」「花が咲いたよ」



と小さな変化に気付き、自然と野菜への興味も深まってきました。0・1・2歳児のこどもたちも、登園、降園時、茎や、葉が大きくなり、実がなる様子を嬉しそうに見ていました。自分たちで育てた野菜を収穫する喜びは特別で、食べてみたいという気持ちに繋がることも多くあります。収穫後、家庭に持ち帰り、「ピーマンを野菜炒めにしたよ」「きゅうりをサラダにしたよ」「食べたんだ」と料理をして食べたことを、嬉しそうに報告してくれる園児もいました。
このような経験を通して、食べ物大切に育んで感謝の気持ちを育んでいます。これからも、栽培を通して、食べることは楽しいと感じられるような食育活動を大切にしていきたいと思っています。